

羅針盤 vol.96 校長 白岩博明

この羅針盤で国政のことに触れるのは初めてです。

先日、自由民主党と日本維新の会の連立政権が発足し、国政史上初の女性首相（高市早苗氏）が誕生しました。この連立政権発足は私立高等学校にとって大きな意味を成します。それは、いわゆる「高校授業料無償化」実現に拍車がかかったことなのです。この「高校授業料無償化」は3党合意（自民・公明・維新）で進められてきましたが、このたびの連立政権の「合意書」に、来年度4月実施に向けて制度設計を確定させるという文言が盛り込まれているのです。

10月28日、制度設計に着手するという報道がなされました。これまでも修学支援金は徐々に拡充され、私立高校入学のハードルは下がってきていましたが、無償化制度の本格実施によって私学入学希望者増が予想されます。嬉しいことです。



（東北・北海道コース。ガイド役の松島高校生徒と松島・円通院の庭園内にある東屋でのショット。短時間ですが、親睦が図れました。）

「見た、聞いた、触れた!!」

10月13日（火）～18日（土）は、研修旅行ウィークとなりました。中学校3年生、高校2年生がそれぞれのコースで一生記憶に残るような学びを経験してきました。本校ホームページでも紹介していますが、改めてその様子について簡単にご紹介します。

中学校3年生は、10月15日（水）～18日（土）の3泊4日で昨年に引き続き「台湾」に向かいました。研修旅行の目的は、「持続可能で新しい価値が創造できる協創人を育成する」「訪問地の地域住民と接することを通じて、コミュニケーション力の向上を図ると共に、地域に課題を見出し、解決しようとする力を養う」などです。旅行の2日目には、本校との姉妹校・提携校である臺北市立民權國民中學校を訪問しましたが、同中学校の校長先生と生徒は今年7月初旬に本校を訪れており、様々な交流行事を通じて親睦を深めていました。このたびの同中学校の訪問は、いわゆる再会ということでもあり、相互の更なる親睦の機会となりました。

高校2年生は、「考えるより、まず感じてみよう!」「他にはない、最高の旅を!」「心に焼き付けろ!」などの標語を掲げ、東北・北海道コース、沖縄コース、カンボジアコースの3コースに分かれて実施しました。

東北・北海道コースは、10月14日（火）～18日（土）までの4泊5日で行われました。このコースは、仙台で東日本大震災・震災学習、松島では宮城県立松島高校生徒によるガイドツアーなどを経て北海道へ。白老町にある「ウポポイ」（民族共生象徴空間）を訪れ、アイヌの伝統芸能などに触れることができました。4日目には、「観光人クエスト」といって、地域創生などに携わっている方からお話を聞きワークショップを行いました。そして、ニセコ・ルスツ大自然体験が行われ、私は「ラフティング」に参加しましたが、8人でゴムボートに乗り、尻別川を下る爽快感は最高でした。

最終日は、札幌班別自由行動。札幌時計台などを見て、午後3時の飛行機で広島に戻りました。

沖縄コースも10月14日（火）からの4泊5日で行われました。初日、那覇空港に着いた後は、真っ直ぐに「ひめゆりの塔」へ。平和記念資料館を見学し、事前学習で学んだことを再確認しながら、唯一の地上戦が行われた悲惨な歴史を改めて学びました。2日目は、「美ら海水族館」の見学をして、「やんばる体験」（マングローブカヌーとシュノーケリング・バナナボート）に興じました。3日目は、沖縄県読谷高校との交流学习、チビチビリガマ、シムクガマなどの見学をしました。4日目には東北・北海道コースと同様に「観光人クエスト」が行われ、現地の方から多くを学びました。そして、最終日は、お待ちかね「国際通り自主研修」。たくさんのお土産を片手に、16時過ぎ、に那覇空港を発って広島に戻りました。

そして、カンボジアコース。カンボジアコースは飛行機便の関係で、他コースよりも1日早い13日（月）に出発し、5泊6日の工程となりました。2日目の夕方、シェムリアップ国際空港に到着し、カンボジアでの学びが開始されました。翌朝は何と4:30に全員起床しました。目的は、ただ1つ、アンコール・ワットでの日の出を見るためです。世界の景観の中でも、是非とも見ておきたい景観のbest5に入るこの地、生徒の感動の溜息が広島にも聞こえてきました…。現地校・バイヨン中高校との交流、孤児院の訪問、地雷博物館の見学などを通して異文化を知り、日本との違いを肌身で感じて帰国しました。

ところで、研修後、沖縄コースに参加したある男子生徒が「戦争当時、同い年の人が犠牲になり、想いや夢を叶えられなかった。今の日常が当たり前じゃないということに気づいた」と引率の先生にしんみりと話したそうです。この気持ちを大切にしたいと願う。